

# 水清きふるさと

平成19年度活動のまとめ

(2007年度)



四十四田ダムから姫神を眺む

岩手県生活問題研究会

## 2007年度活動報告

### ——新たな歩みをすすめるために——

岩手県生活問題研究会は、準備期間を含め40年の歩みを続けてきました。ひと口に40年と言えば簡単なことですが、この間経済成長著しく人々のくらしも活気を帶びてきました。それと併せるように、私たちを取りまく環境は、悪化の一途を突き進むことになりました。急速に進む地球温暖化の波は、待ったなしの状況で私たちのくらしを直撃しています。そのような中で、2008年4月1日より京都議定書に基づき温室効果ガスの排出量を削減する約束期間に本格的に入ることになりました。

当研究会は、その時々の社会状況を踏まえつつ生態系への負荷を軽減することを活動の中心に据え、思いを同じにする人々と共に精一杯の活動をしてきました。

2007年度の活動としては限りある水資源の保全のために、再び原点に立ち返り、汚染の元凶を絶つライフスタイルを作っていく活動をすすめてきました。また、持続可能な水資源の確保のために、他団体との交流や学習を深め、積極的に参加することを重ねてきました。水質汚染を防ぐことに伴って廃食油の再利用として石けん作りをすすめ、街頭で市民に配布するなども一つの例です

ゴミ問題については、当研究会として施設の視察や資源となるゴミの状況を調査するなどの活動を続けてきました。ゴミの有料化が県内外を問わず出てきていますが、限りある資源の無駄使いについて大いに考えさせられる場面も現実として起こっています。

活動の内容については、盛岡消費者まつりをはじめとして情報提供のために出展の機会を得るなど積極的に取り組みました。また「環境カルタ」の創作出展は注目を集めました。

活動を続けることによって新たな課題が発生します。夏には洞爺湖サミットもあり今や、地球温暖化防止対策の重要性が叫ばれています。新年度に向けて私たちの活動は、地球規模の視点に立ちながら、日常的に足元からできる実践を広めるため行動する力を互いに育てて行くことです。

長きに亘り、当研究会に対しご支援いただき誠にありがとうございました。変わらぬご指導をお願いします。

2008年4月

岩手県生活問題研究会  
会長 佐藤まゆみ

## 限りある資源 自然といのちを守るために

### <水を汚すな>

蛇口をひねるとジャーと出てくる水！あちこちで湧き出る清水！日常に無くてはならない水ですが、無尽蔵にあるものだと思いますか？水は人々のくらしの中で汚れていきます。家庭から排出される雑排水は水質汚染の大きな原因となっています。

私たちは水質汚染の原因となっている家庭雑排水の中で日常行われる洗濯の際に、“白さを求める”ことに目を向け、考察してみました。

#### ○白さを求めるということは？

私たちは毎日毎日洗うという行為を繰り返しています。きれいにしたい、衛生的でありたいと考えて行っていることです。同時に汚れを落として清潔にし、繰り返し使っていこうという気持ちが根底にあるからです。特に白いものはいつまでも白さを保ち続けたいと思うことでしょう。

#### ——白さについて考えてみませんか——

##### ○蛍光増白剤

洗浄力に関係なく白さをみせるため染料として殆どの洗濯用合成洗剤に入っています。合成洗剤の洗浄力をカバーするために白く染め上げるという役割を果たしています。発ガン性ありとする国の判断基準があります。

##### ○漂白剤

汚れを落としてもとの白さにする働きがあります。塩素系と酸素系があり用途によって使い分けることが出来ます。塩素系は漂白が強く殺菌作用もあります。台所用ふきんやまな板の洗浄にも向いています。洗濯で使用したら十分にすぐ必要があります。酸素系は塩素系に比べて漂白作用は弱いものの殺菌効果もあり安心して使えます。

#### 漂白剤の表示例

用 途		台所用品の漂白・除菌・除臭			
●台所用洗剤ではとれないと、シミ、茶シブ、くもり、黒ずみ等をきれいに落とします。		●ふきんやまな板もおいている頃ぬ、悪臭もしっかり取り除けます。			
●ふきん、台ふきん、おしごり		●まな板、食器(茶碗、カップ、哺乳びん等)、きゅうず			
使 用 量 の 目 安	(キャップ1杯は約25ml)	5Lの水に30ml (キャップ約1杯強)	5Lの水に50ml (キャップ約2杯)	5Lの水に6ml (キャップ約1/4杯)	5Lの水に10ml (キャップ約1/2杯)
使 用 方 法	漂 白 (除菌・除臭)	30分ぐらい(汚れのひどい時には少し長めに) 浸した後、水ですぐ。	5Lの水に50ml (キャップ約2杯)	5Lの水に6ml (キャップ約1/4杯)	5Lの水に10ml (キャップ約1/2杯)
使 用 方 法	除 菌 (除臭)	2分ぐらい(浸した後、水ですぐ。 ※木製のまな板は5分以上浸す。 ※食器用スポンジは変色があるので長時間浸さない。)		●食器用スポンジ ●冷蔵庫、食器棚	●液に浸した布を絞って 拭いた後、水拭きをする。

●品名／台所用漂白剤 ●成分／次亜塩素酸ナトリウム(塩素系)、界面活性剤(アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム)、水酸化ナトリウム(アルカリ剤) ●液性／アルカリ性

花王株式会社 〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10 ☎03(5630)5020

品名／衣料用漂白剤	成分／次亜塩素酸ナトリウム(塩素系)、水酸化ナトリウム(アルカリ剤) ●液性／アルカリ性
●物衣料専用(白物衣料でも使えないものがありますので注意してください。)	
用 途	●黄ばみ・黒ずみの漂白・衣料の除菌・除臭 ●赤ちゃんの衣料の漂白
使 用 方 法	(洗たく機洗い) 洗たく用洗剤といっしょに 洗たく機に入れて洗う。(ステンレス槽可)

○蛍光増白剤検出実験（だれでも簡単にできる）ブラックライトを使います。

- ・白いワイシャツ、白いブラウス、白いタオル、さらしの反物、脱脂綿

ブラックライトを当てると布が青く光ります。真っ白いものは殆どが光りました。

脱脂綿は反応しません。

### 蛍光増白剤の表示

品名	洗濯用合成洗剤	用途	綿・麻・合成繊維用	液性	弱アルカリ性
成 分	界面活性剤(20%:直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)、水軟化剤(アルミノケイ酸塩)、アルカリ剤(炭酸塩)、工程剤(硫酸塩)、溶解改良剤、再付着防止剤、漂白剤、蛍光増白剤、酵素				

(使用上の注意) ●子供の手の届くところに置かない。●用途外に使わない。●使用後は手をよく水で洗い、お肌のお手入れを。●荒れ性の方や長時間使う場合、また洗剤を歯ブラシなどにつけて洗う時は、炊事用手袋をご使用ください。●この洗剤を水などに溶かしたもの密閉容器に保管しないでください。発生した酸素が容器内圧を上げ、液が噴出することがあります。

(応急処置) ●万一飲み込んだ場合は、水を飲むなどの処置をして、医師に相談してください。●目に入った場合は、こすらずにすぐ水でよく洗って、医師に相談してください。



2007 9 7

- 真っ白いものはいつまでも真っ白いままに使いたいと思えば、蛍光増白剤の入った合成洗剤を使うのがてつとり早い方法です。毎日のことですから、それだけ水を使い、汚していることになるとすれば考え直す必要があります。
- 蛍光増白剤については、まだまだ学習を深めることが必要です。また伴う実践についても、私たちの日常のくらしの中で出きることなど、工夫していかなければなりません。



## 森林環境フォーラム「スギはワルモノなのか」に出席して

2007年6月16日 13:00~16:30 零石町総合福祉センター

戦後の復興の中で、国土緑化・木材の需要に応えるため、成長が早く利用面の有望な「スギ林」が広く造られるようになった。豊富なスギ資源は、林業の発展、山間地域の振興に貢献した。

1985年以降、外材の輸入増加、非木材の産業の増加と、建築分野への浸透によってスギの需要が減り、林業・林産業は山村の過疎化と共に後退し、山は荒廃していった。

岩手県は2006年に「いわて森づくり県民税」をスタートさせ、公的資金による森林整備事業に着手した。木材は再生産が可能な材料であり、森林が吸収したCO<sub>2</sub>を固定化して再生可能な自然の資源をしっかりと活用すべきである。

以上がフォーラム開催の趣旨です。次いで、4人のパネリストが紹介され順次進められました。

### ○ 中屋さん（岩手医科大学）から

スギ花粉症のメカニズムは分かっていても患者数は増加しつつある。人の免疫機能が変わり微量の異物にも過剰な反応を起こす。そのような体质は遺伝すること。生活上の防衛対策や個人による体质改善などにも触れながら話されました。

### ○ 田口さん（小岩井農場株式会社）から

「小岩井の木で家を建てよう」と一般の消費者に呼びかけたいが触れ合う機会がない。子どもたちには、元気で生きる、どう生きぬくかを学ぶ場を作っていく。次世代にスギの良さを継承すると話されました。

### ○ 岩崎さん（岩産建設）から

使いたい材料が半分も揃わない。外材の方が使い易い。杉は節が多くなったので合板にまわった。そのため天井の見えない所に利用される。本来は、床材に使えば柔らかく利用価値がある。今は、合板の心材として使われている。杉が使われなくなったということは悲しい、と話されました。

### ○ 葛さん（岩手県生活問題研究会）から

自分が木材のオーナーだったころ、一本何万円とかのオーナーという話もあった。その後、立派なスギがなぜ使われないか、なぜ値段が高いのか、岩手の木を使って大事な生活ができるのではと疑問を感じている、と話されました。

この後、意見交換があり、スギに対する思いが参加者からも多く発言がありました。杉を見直し、利用価値を高める必要があると感じました。 (細野 孝子)



## 「森林・環境フォーラム in いわて」に参加して

「スギはワルモノなのか?」というタイトルを聞いて、スギ花粉症、小学生のころのスギの葉拾い、姫神山登山の一本スギ、酒工場の玄関にぶら下がっているスギ玉、神社にはスギの木が多い、ということくらいしか思い浮かびませんでした。

家の中を見回してもスギらしい木はなさそうだし、家具や建具も合板とか外材でできているようです。

今年自然世塾に入り、西和賀の国有林でスギを植林したり、スギや森林の学習をすることにより、木を守り育てるということは長い年月がかかり、若い人たちの手が必要だということも分かりました。私たちの植えた400本のスギ苗がどんな木になるか楽しみです。

岩手県で取り組んでいる森林税は、どういうところに使われているのだろうという疑問も沸きました。

今回のフォーラムの前に小岩井農場の中にあるスギ林を見て、手入れがなされた林というのはこんなにも美しく整然としているものなのか、という感じを持ちました。

午後のフォーラムでは講演者のお話、パネルディスカッションではそれぞれの立場のパネラーの方々のお話を聞き、知らないことが多すぎると反省させられました。

今、子どもたちが農業や漁業、酪農の体験学習のニュースや新聞記事を見かけますが、植林体験学習も増えれば、スギを含め、木や森林に关心を持つのではないだろうかと思いました。

報告 松村ウメ子

## 「水の日」行動への参加

日 時 8月1日  
場 所 中三前・川徳前

8月1日は「水の日」です。私たちは毎年この運動に参加しています。廃油利用の手作り石けんを配布しながら、水を汚さない工夫、水を大切に使いましょうなどと水環境について市民にPRしています。

今年は手作り石けん400個配布しましたが15分位であつという間になくなりました。中三アーケード街は老若男女が通りますが、若い男性も関心をしめしてくれたことは、環境問題がすこしづつ広まっている事を感じさせられました。これからも続けていきましょう。

### —きれいな水を未来へ—

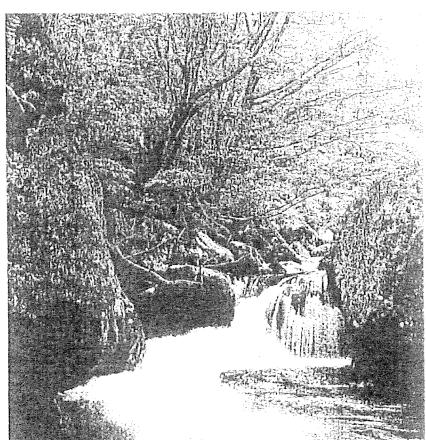
#### 「守ろう大切な森林」

森林は、大地に降り注いだ雨をしみこませ大切に保水する自然のダムです。

同時に、その環境を保全することは「生命の水」を守ることになるのです。

#### 「石けんを使おう！」

家庭で使われている合成洗剤は、浸透力が強く残留することから、環境への負担が大きな問題です。石けんを使う生活で水サイクルを回復させましょう。



### 水は基本的人権

#### —水はお金儲けの道具ではありません—

水道事業は24時間365日「命の水」を届ける重要なライフラインであり、公共サービスです。

過去の地震災害でも、昼夜を問わず応急給水が行われ、水道事業体相互の援助もありました。

その意味からも、利益追求の対象とせず、公共サービスとしての公営水道を維持することが必要です。

## 第27回盛岡消費者まつり

日 時 9月7、8、9日（金、土、日）

場 所 プラザおでって

テーク 「人と環境、未来に優しい暮らしをめざして」

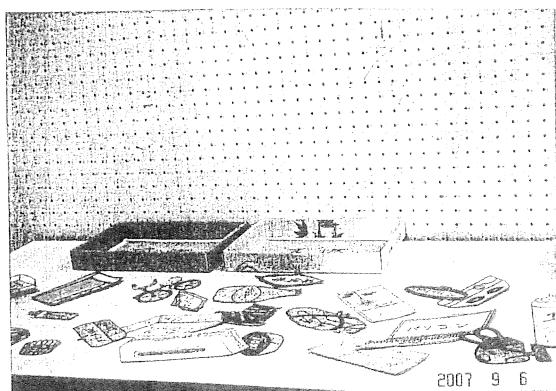
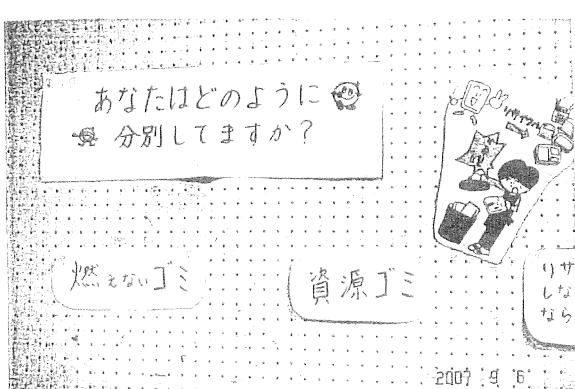
### 来場者の声および会としての反省

#### 石けん作りについて（期間中268個）

- ・ 石けん作りをしたいときどこに連絡したらよいのか→事務局の連絡先を明記する。
- ・ 前に別のところで貰った石けんにかびがはえたがどうしてか。
- ・ 廃油を集める事を市で取り組めば期限切れの油や廃油を捨てなくなるのでは。
- ・ 皮膚が弱いので石けんを使うようにしているが、香料の入ったものが多く香料にまける。
- ・ 昨年いただいた石けんがとてもよかつたので、今年も来た。
- ・ 石けん作りを見学した人から、実際洗って汚れのおち具合を見せて欲しいと言われた。
- ・ 石けんの使い方を説明すると殆どの人が、食器も洗えるの？という声があつた。

#### ゴミ分別について

- ・ ケーキの箱はなぜ資源ごみにならないのか→クリームなど油分が箱につくとリサイクルできないので。
- ・ 町内会ではごみ分別に苦労している。大変参考になった。
- ・ ゴミの分別をみた、たすけ合いの会の人たちは実際やってみて勉強になったとの感想。
- ・ 小4の子どもと家族がきてゴミ分別をやった。今学校でゴミ分別について学習しているので家族でも分別している。
- ・ ゴミ分別で三輪車の絵が大人用自転車に見えたと言う人が数人いた→絵を書き換えて裏に自転車は優良なので、そのことも書くようとする。



## 環境カルタ

- ・ カルタの絵が素晴らしい。作成に時間がかかったでしょうねと言われた。
- ・ カルタの字が上手です。教えて欲しい。
- ・ 小さい子ども達が興味深げにカルタとごみ分別のところで遊んでいた。



## 蛍光増白剤・ブラックライト

- ・ 蛍光増白剤が使用されている服を何年も着ているが、孫たちにはそうでない服を着せたいと思う。
- ・ 女性の船の会の産着作りで、さらしを使って新生児にプレゼントしているが蛍光増白剤が入っていないか心配だ。

## バイオジーゼル（杉生園）について

- ・ 京都から来た若い人は、バスは全部バイオジーゼルで走っていると話していた。
- ・ ひまわりの種が入っていた袋を見て「きたぎん」とだったので「金が入っているのか」といわれた。名前入りの袋を使うのはどうなのか。
- ・ バイオジーゼルを使っている人がきて、冬のきびしい寒さの時は凍りやすい（-5度まで使用可）。市の公用車は使っているのかと言っていた。
- ・ ひまわりの油はどうするのか、売るのかと聞かれた。

## その他

- ・ 昨年ふろしきを展示したが今年はやらなかつたのですか。

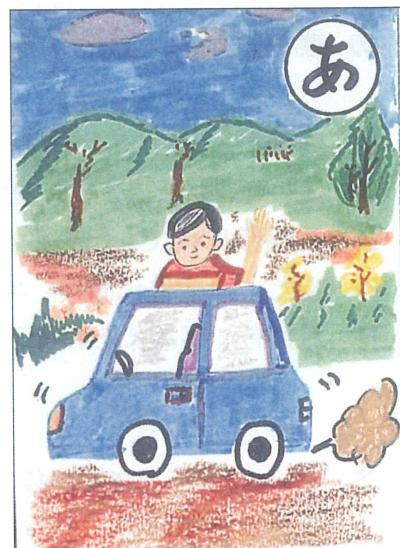
## 次年度の課題

- ・ 石けん作りの資料に連絡先（事務局）を明記する。
- ・ 石けんの汚れ落ちの実演をしてみる。
- ・ ゴミ問題は関心が高かった。有料ごみ、例えば自転車は〇円、長さ2m以内は・・・など説明を加える。参考に市の広報を貼る。
- ・ ふろしきの活用に再掲載の要望があったので考えてみる。
- ・ カルタやゴミ分別では子ども達が集まった。動きのある展示をもっと心がけるようにする。カルタは問題提起になったと思う。

今、南極の氷が溶けているのは、地球温暖化の影響といわれています。今年の猛暑もその現れではないでしょうか。私たちは、ゴミ減量や省エネ問題など環境を守るために身近なことに取り組んできました。そこで、その一環として環境カルタを作りました。

### <環境カルタ>

- あ アイドリングみんなで減らそうCO2
- い 今はもう穴があいてるオゾン層
- う 埋め立て場、もう限界だこれ以上
- え エコマーク、ついてる商品選ぼうね
- お 温暖化、地球の危機がせまってる



- か 買いすぎて最後はごみの山になる
- き きれいなふるさといつまでも
- く 車はやめてウォーキング
- け 携帯はごみに出さずにリサイクル
- こ 子供の頃から環境教育すすめよう



- さ 酸性雨、自然の恵みも害となり
- し 自転車は環境にやさしい乗り物だ
- す スプレー缶、穴を開けてリサイクル
- せ 洗濯はお風呂の残り湯使おうよ
- そ 掃除機は周りをかたづけスイッチオン



- た 太陽も風も立派なエネルギー
- ち 地域での集団回収広げよう
- つ 詰め込まれ悲鳴をあげてる冷蔵庫
- て ついに何重にも包装され
- と トランクにつみ過ぎCO2 まきちらし

な 何回も洗って使おうペットボトル  
に 人間が自分たちで作ったごみの山  
ぬ 布ふきん利用しティッシュは不要  
ね 熱帯夜、苦しむもとは温暖化  
の 残り物ひと手間かけて新メニュー

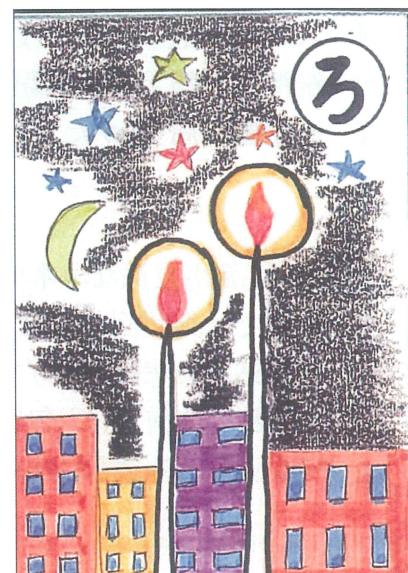
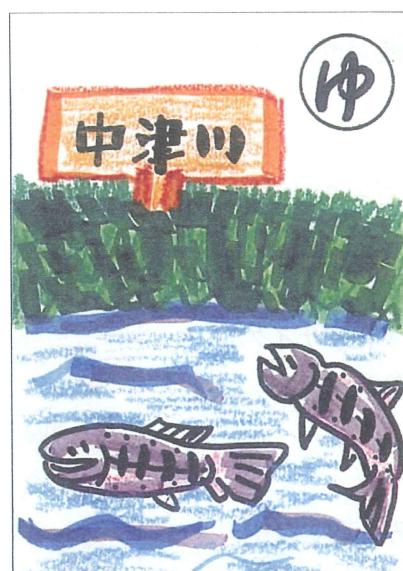
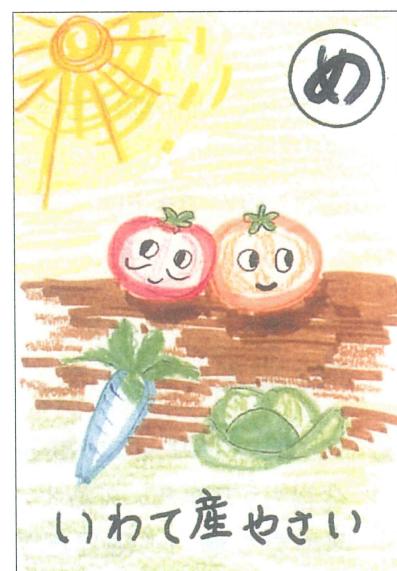
は 廃油からリサイクル石けん、燃料も  
ひ 人のエゴ、干潟までも侵略し  
ふ 風呂敷は何でも包めるすぐれもの  
へ 変だよね猛暑に暖冬、エルニーニョ  
ほ 放射能、事故にあわてる危機管理

ま マイバック持参でレジ袋不用  
み 見渡せば空き缶ペットの観光地  
む 無駄なく使おうエネルギー  
め 目の前の作物食べよう地産地消  
も もったいない使えるものは再利用

や 野菜くず肥料になって里帰り  
ゆ 悠々ともどつてくる鮭待つ中津川  
よ 容器包装減らすばら売り量り売り

ら 乱開発、環境破壊に拍車かけ  
り リユースは環境社会のキーワード  
る 留守の時プラグを抜いて出かけよう  
れ 冷暖房控えめにして省資源  
ろ ろうそくの明かりで今日はキャンドルナイト

わ 割り箸を使わずマイはし持参して



「意外に知らない身近な環境汚染」学習会に参加（平成19年10月15日）

大気汚染状況汚染物質モリタリング結果すべてにおいて低い値、きれいな盛岡市となっている。

光化学スモックは4月～5月中国からの黄砂が多い、子供の多い場所に注意連絡を取っている。先日のテレビで目覚しく経済発展をしている中国、大気汚染により日本全体光化学スモックに覆われる可能性が出てきている。五島列島など影響が出始めているので北半球の問題として考えなければと解説者が話していた。

アスベスト大気濃度調査でもクリア一しているが

建物の解体時、立て看板を立て、ビニールで覆ったりして防いでいる。

現在は建物のふきつけアスベスト、劣化し空中に飛び出しているものに注意。

断熱材はそのままで良し。

大気汚染 無駄な事はしない。勿体ない事しない！

野焼き、自然物は燃やしてよい（プラスチック、ビニールは燃やさない、）

ただし周りの迷惑を考えて！プラスチック、ビニールごみを減らしたい。

### 土壤汚染対策

人に健康被害のリスクがないと対処しない

現在被害心配のリスクは盛岡市はない

土壤汚染物質への対応の指導として汚染周辺対策として井戸水の煮沸使用や上水道への切替えを薦めている。

井戸水の水質検査は年一回、保健所などでしてもらった方が良い。

一番大変なのはオイルもれに注意、対策費用は自己負担です。

灯油もれなど臭いがありますので各自で注意、下水など汚染された場合大変、ホームタンクの劣化などに注意してください。

盛岡は自然の残るきれいな町、今年もサケが登ってきました。若者も戻ってくる街に！



報告 吉田静子

盛岡リサイクル事業所（10月26日午前）  
滝沢村清掃センター（10月26日午後）を見学しての感想  
(研究会会員6名、他団体の方1名参加)

- \* 缶、びん、ペットボトルを小袋で出すと、それらを取り出す手間がかかるということが分かった。大きい袋にひとまとめにするとか、ストックヤードのあるところでは、かごに入れるなどすれば手間がはぶけると感じた。
- \* 臭いや騒音がひどく、ゴミ処理場で働く人たちの健康管理も大切だと思った。
- \* スプレー缶を出す時穴をあけることになっているが、小さい火災が多く、大きい火災も年に数回あるとのことで、私たちももっと気をつけなければと思った。
- \* 飲み残しや食べ残しがあるものは、クリーンセンターで処理しているということが初めてわかった。容器の中身は捨ててから出すことが基本。
- \* 事業所の人の話で、コンビニなどでもペットのふたは別のボックスに入れるように指導して欲しい、とのことで、事業主を指導することが大事ではないか。
- \* 不燃ごみとして出された発泡スチロールは可燃ごみとし、クリーンセンターで処理されているとのことであったが、2度手間ではないかと感じたが、温度調節とのことを初めて知った。
- \* 岩手県で一番ごみを出しているところは釜石市
- \* ペットボトルなどのリサイクル費用は製造者責任にしないと、どんどん増えるばかりである。もっとメーカーに働きかける必要がある。
- \* リサイクル事業所を見学して、改めてごみの出し方を気をつけなければと思った。
- \* 実際に見学してみると、知らないことが沢山あることがわかつてよかったです。機会があったらまた別のところも見学して学習をしたい。
- \* 埋め立て場を見て、森をゴミ捨て場にしたという感じを持った。
- \* 滝沢村清掃センターは、臭いや騒音もなく、一般廃棄物を無害化し、埋め立て量を少なくする施設で、ごみ発電でエネルギーの有効利用を図り、ダイオキシン類などを含めた公害防止対策に配慮されたというだけあって、近代的な施設は清掃センターという感じがしなかった。  
この施設は、20年くらいしか機能しないということであるが、その後はどうなるのだろうか、という疑問を持った。



盛岡市リサイクル事業所見学



圧縮された金属類

## 「自然世塾」第2回講座 「地ごしらえと植林を体験しよう」に参加して

日時 2007年5月27日（日）

場所 西和賀町 貝沢・長橋国有林

自然世塾に今年から参加し第11回の塾生となりました。塾の目標は「森に親しみ、森を支えた先人に学ぶ。自然と共生する技を探し身につける。森を伝える人々の輪をつくる」とのことでした。

第2回目の講座では植林体験がありました。

平らな土地に苗を植えていくものとばかり考えていたのですが、着いたところが45度もあろうかという急傾斜地で、「えー、ここを登って植えるの一？」とびっくり。ヘルメットをかぶり、木の苗と短い鍬、のこぎりを担いで目的地まで。それだけで息切れてしまいました。

そこに穴を掘り、杉の苗400本をNPOや専門家の指導を受け植えたのですが、何本も植えないうちに汗だくになりました。そこから向かいの林を見下ろすと、整然と並び、手入れがなされた林だということが分かり、まるで風景画のようでした。

山仕事には気象条件、危険な動植物、怪我などが考えられ、農業や漁業とともにきつい、きたない、危険という3Kのイメージが強く、従事する人が減ってきてることも無理のないことだと思います。

植林から始まり、下草刈り、枝打ち、間伐と労力と経費がかかりますが、洪水の緩和、水質浄化、保水効果、生活に彩りを与え、森林がCO<sub>2</sub>を吸収し、地球温暖化を抑える役割を果たすといわれています。

研究会でもこれまで水問題に取り組んできましたが、これまでとは違った角度から「水環境」を考え、学習する機会にしたいと思いました。

今回植えた苗がどうなっているか、数年後に見に行きたいものです

報告 松村 ウメ子



杉の植林体験の様子

## 岩手県消費者大会

日 時：2007年10月31日（水）

10:30～15:30

会 場：サンビル7階

テーマ 「消費税増税に反対し、国民が安心して暮らせる社会をめざそう」

午前

1 全体会基調講演 10:30～12:30

「日本経済は庶民増税なしで再生可能」

～つくられた政府の財政危機キャンペーンを斬る～

経済アナリスト・獨協大学経済学部教授 森永 卓郎 先生

今県民は「住民税が2倍、3倍にはね上がった」と6月の住民税に怒り、将来への不安を募らせています。この定率減税廃止による増税が1兆7千億円、一方で大企業や大資産家には減価償却の企業減税などで1兆7千億円の減税。庶民のなけなしの懐から無理やり取った税金を大企業などの減税にまわすとは、なんという不公平でしょうか。森永先生は、こうした庶民増税や消費税を行なわなくても、日本の財政再建と日本経済の安定成長は可能であることをズバリ分かりやすくお話をしました。

2 平和パフォーマンス「教育基本法に續いて、平和憲法・9条の改悪が狙われている！みんなで平和を守るために行動しよう」

3 決議提案

全体会感想

政府は財源不足になるので、消費税増税と言っているが、税制のしくみが大企業や大金持ちには優遇され、庶民に重税となっている。

消費税は所得の低い人ほど負担の重い不公平税制で、日本経済を支えているのは多くの庶民である。

森永先生の著書に「年収300万時代を生き抜く経済学」という本があるがそれ以下の年間所得が200万未満の労働者が大幅に増え、「ワーキングプア」と呼ばれ、格差社会が社会問題となっている。

経済のしくみが分からぬから、仕方がないとあきらめている部分があるが、そういうからくりが今回の話で分かった。

生活の場から発信した学習活動をすすめて、行動しなければと思った。

報告 松村 ウメ子

午後：分科会 13：10～15：30

1	食料・食の安全	バイオ燃料ブームの陰で脅かされる私たちの食生活
2	環境	地球温暖化と私たちにできること
3	医療・介護	医療・介護の危機～安心できる医療・介護を求めて
4	消費者問題	最近の悪質商法被害の実態解明！あなたは大丈夫？

研究会は第4分科会の運営企画団体になった

1 運営企画団体で自己紹介

生活問題研究会 信用生協 全労災 市消費生活センター  
いわて生活者サポートセンター（NPO）

2 専門家によるミニ講演会（最近の消費者被害など）  
市消費者センター

3 参加者からの質問や消費者被害についての発言、意見交換

感想

今回初めて消費者問題の企画運営団体になり、予定どおりに参加者があるだろうか、質問や意見が出るかなど心配したが、19名と丁度いい人数で一人ずつ体験したことを話してもらった。全員がそれぞれ違う消費者被害について話し、背筋の寒くなるような事例ばかりでゾッとした。明日はわが身かも。カード払いをしてスキミングをされた etc、冷静に対処し、地域でも勉強したことを伝えたい。

第4分科会の参加者からのアンケートより

- \* うわさに聞いていたいろいろな手口の体験が語られて“へえ～、ほお～”といった感じでした。
- \* 参加した方の事例を聞くことができ、勉強になりました。人数も多すぎず、少なすぎずちょうどよかったです。
- \* ますます悪質になってきている悪徳商法、多様な手法で市民を騙す事例を知ることができました。知識を得て、自分や周りの人に被害が及ばないようにしたいと思います。
- \* 参加している方々の事例を聞いて、殆どの人が悪質商法にあってることがわかり、びっくりしたと同時に本当に気をつけなくてはいけないと思いました。特に高齢者が昼間一人でいると危険なことが分かり、我が家も気をつけようと思いました。
- \* 司会が上手でした。

報告 細野 孝子

## 第46回全国消費者大会に参加して

日時 2007年11月20日

場所 オリンピック記念青少年センター

テーマ「発揮しよう！消費者の底力！！安心して暮らせる社会のために」

### 分科会

1 消費者政策分科会	“危害情報 “収集と発信
2 食分科会	私たちの食料は大丈夫
3 税・社会保障分科会	安心して暮らせる税・社会保障を考える
4 環境分科会	ストップ！地球温暖化
5 公共交通の安全分科会	公共交通の安全と規制緩和
6 暮らしと憲法分科会	格差社会を超えて未来へ、今こそ暮らしの中に憲法を

### 全体会

テーマ「発揮しよう！消費者の底力！！安心して暮らせる社会のために」

弁護士 宇都宮 健児氏

多重債務問題について、問題改善プログラムと解決のためには貧困問題の解決を訴えられた内容でした。

### 4 環境分科会に参加

基調講演 (独) 国立環境研究所 主任研究員 藤野純一氏

#### 1 なぜ低炭素社会構築が必要か

・平均気温の上昇で海面温度が上昇。その結果台風やハリケーンの規模が大きくなり被害が拡大する。一方冬が暖かいと蚊を媒介するマラリヤやテング熱の伝染拡大など人類にも影響が出てくる。

・北極の氷の面積が少なくなり北極クマが生息できなくなってきた。米国立大気研究センターでは北極の氷が2040年にはほぼ消滅すると予測している。

・2050年までに炭素排出量を半減することを世界共通の目標とした“クールアース50”が国連総会でも賛同された。

#### 2 京都議定書は初めの一歩

京都議定書の目標達成が困難になった原因は大国アメリカ・ロシアが批准しなかったため、各国が真剣に取り組まなかつた。

1997年12月から国をあげての対策が行われていたらもう少し違った状況になっていたと思われる。今後2050にむけて炭素排出量を60~80%削減できなければ深刻な温暖化の被害を受ける。

### 3 どうすれば低炭素社会を描けるか

産業部門 : 構造転換と省エネルギー技術導入で20~40%

運輸旅客部門 : 適切な国土利用、エネルギー効率、炭素強度改善80%

運輸貨物部門 : 物流の高度管理、自動車エネルギー効率改善60%

家庭部門 : 建替えにあわせた高断熱住宅の普及と省エネ機器導入50%

業務部門 : 高断熱ビルへの作り替え、建て直しと省エネ機器導入40%

これらを実効性のあるものにするためには、政府が強いリーダーシップを持って早期の目標共有、社会、技術イノベーションにむけた総合施策の確率が必要である。

### 各団体からの発表

#### NPO 法人気候ネットワーク

- ・ 地球温暖化の要因とされる炭素は企業活動が66%で家庭からは5%である。そのことを考えると企業の規制力を持つ政策が求められる。企業に対しての自主行動計画はなまぬるい。

#### 公害・地球環境問題懇談会

- ・ 1990年以降に電力会社の石炭火力発電が急増。日本の炭素排出量を10%増やした。政府は石炭が天然ガスの2倍の炭素を出すことを承知で建設を容認。こうした逆行する政策を事前にチェックして戦略的アセスメントの法制化が必要。

### 感想

地球温暖化がクローズアップされていることもあり環境分科会に参加した。京都議定書達成のための問題点とその対策を具体的に知ることができた。達成のために其々の立場で知識を出し合い努力していることも分かった。この問題は、一地域の公害問題と違ってすべての人が加害者であり被害者にもなる。そのおかれた立場で実践することの大切さを感じた。特に京都の約束プロジェクト実行委員会の団体は若い方がボランタリーで政党を動かし政治を動かさなければと頑張っていた。結果は政治の厚い壁を知ったと言っていたが、若い人たちが社会を動かそうとする力に感動した。

当研究会も微力ながら身近な水環境・ゴミ問題などに取り組んでいる。できるところから実践を続けることが、この温暖化をくいとめる一手段になっていることが確認できた意義ある研修会を受講できたことに感謝します。

広野 カツ子

## 第46回全国消費者大会に参加して

### 2 食分科会に参加

#### 「私達の食料は大丈夫」

相も変わらない食品偽装表示、食料品の高騰、政治的にとも受け取れる米国産牛肉の輸入再開、自治体の意向を無視したBSE問題への不安、過疎化・高齢化が進む農村など私達の食卓は危機に見舞われています。食料の安定供給、食料自給率の向上、安全な食の生産・消費の為消費者はどんな選び方をすれば良いのかを学びました。

#### (1) 「食のグローバル化によって私達の食料はどうなるか」

東京大学 鈴木宣弘氏

#### どこまで下がる日本の食料自給率

我々の体のエネルギーの60%は海外の食料に依存。

国の経済財政諮問会議で標的となっている医療と農業、地方の医療設備や医師不足による「地域医療の崩壊」の危機、人々の健康と生命に直結する公益性を持つ医療と農業がないがしろにされつつある。

#### 国土環境と国民の健康

極端な食料自給率の低下による国家安全保障の問題、地域社会の崩壊、窒素過剰による国土環境や人々の健康への描く影響等、長期的に失うものの大きさを総合的に考え、バランスのとれた将来の日本の姿を見出すべきと結んだ。

#### (2) 「日本の農業は生き残れるのか」

元明治大学教授 北出俊昭氏

・食料供給力が低下する日本農業

- ①耕地利用の悪化
- ②就業人口の高齢化
- ③農業所得の減少
- ④低下した食料自給率

- ①小規模零細で分散した農業生産
  - ②組織化・法人化の課題
  - ③農業への企業参入問題
- ・農業政策の現状と課題
- 1.大規模農業への参入(小規模農家)が必要か
  - 1.日本の農業は行き残さなくてはいけない。更に発展させなければいけない

### (3) 「バイオ燃料と食料問題」

天笠啓祐氏

- バイオ燃料は9割がエタノール、食べるものとガッティングだ。  
酒・トウモロコシ・サトウキビ・米・セルロース・食用油・ナタネ・大豆・バームヤシ、食料不足の拡大につながるのでは。。。
- 第二世代バイオ燃料(セルロース型)  
建築廃材・塗料などで使い物にならない「産業廃棄物の処理」として、国で補助奨励しているがコストがかかる。  
次の狙いは、エタノール生産用トウモロコシ・遺伝子組み換え樹木の開発だ

結論として

- ・トウモロコシの余り現象が起きるのでは
- ・食品の価格上昇の要因になる
- ・6%CO<sub>2</sub>を下げる為の技術を求めているが流通産業(コンビニ)の24時間営業を減らす必要がある  
我々の体のエネルギーの60%は海外の食料に依存。  
国の経済財政諮問会議で標的となっている医療と農業、地方の医療設備や医師不足による「地域医療の崩壊」の危機、人々の健康と生命に直結する公益性を持つ医療と農業がないがしろにされつつある。

各団体から意見

#### TA全国女性組織協議会

- ・田舎は子供を産めない。医療設備の整った病院がなく不安だ。
- ・畜産農家があと何ヶ月もつかと悲鳴をあげている。
- ・地産地消をぜひ共有して欲しい
- ・米価を下げる事は消費者は良いが生産者は苦しい。

#### 全国農協青年組織協議会

- ・学校の給食は「こめ」、子供のおやつは「おにぎり」に！
- ・脱サラした高知県の方は、酪農で食べて行けた時代は自分の選択に間違いはなかったと思って暮らしてきたが、今は休耕田を飼料を育てる為草を育てている状態。どうか国産品を食べて欲しい。  
価格は高いかもしれないが。

## 各先生方からの提言

土地条件、労働条件を上手に使っているのが「産直」だと思う。  
物を売る・加工するだけでなく「レストラン」へと発展する運動を広めて  
欲しい。組織化する事(一人では何も出来ない)、農協も援助すべき。  
又、行政も大いに考えて欲しい。地域は農も商もない。都市と農村だけ  
の問題ではなく国の問題として考えていくべきだ。

## ○感想○

我々の口にする食料が今色々の方面で問題が浮上している。  
驚いたのは60%もの食料が海外に依存している事。又農業就業の高齢化  
(65歳以上男子60%)、小規模農家が崩壊する?と言われている現状を国は  
黙って見過ごすのだろうか。  
なぜオーストラリアとのEPA(経済連携協定)など結ぶ必要があるのでしょうか。  
目的は、日本・アジアの小規模農業をなくそうと考えている様だと話しておら  
れましたが本当だとしたら恐ろしいです。

皆で国産の食料を食べましょう！

日本の農業が“元気”になっていただきたいと切に願っております。

とても意義ある研修会に出席させていただきました事に心から感謝致します

報告 細野 孝子



盛岡消費者まつり

## 各先生方からの提言

土地条件、労働条件を上手に使っているのが「産直」だと思う。  
物を売る・加工するだけでなく「レストラン」へと発展する運動を広めて  
欲しい。組織化する事(一人では何も出来ない)、農協も援助すべき。  
又、行政も大いに考えて欲しい。地域は農も商もない。都市と農村だけ  
の問題ではなく国の問題として考えていくべきだ。

## ○感想○

我々の口にする食料が今色々の方面で問題が浮上している。  
驚いたのは60%もの食料が海外に依存している事。又農業就業の高齢化  
(65歳以上男子60%)、小規模農家が崩壊する?と言われている現状を国は  
黙って見過ごすのだろうか。  
なぜオーストラリアとのEPA(経済連携協定)など結ぶ必要があるのでしよう。  
目的は、日本・アジアの小規模農業をなくそうと考えている様だと話しておら  
れましたが本当だとしたら恐ろしいです。

皆で国産の食料を食べましょう！

日本の農業が“元気”になっていただきたいと切に願っております。

とても意義ある研修会に出席させていただきました事に心から感謝致します

報告 細野 孝子



盛岡消費者まつり

10:00  
▼  
12:00

# 私たちが創るいわての未来 ポスターセッション

市民団体や事業者、行政による取組みの発表を聴いて  
あなたも参加してみませんか？

## ポスターセッション発表一覧表

NO	グループ番号	題名	団体名	グループ別発表者	発表時間
1	A1	「ネイチャーゲーム」でわかちあう自然への気づき	岩手県ネイチャーゲーム協会	岩手県ネイチャーゲーム協会 理事長 箱崎明美	10:00～10:15
2	A2	環境カルタ	岩手県生活問題研究会	佐藤まゆみ	10:15～10:30
3	A3	100万人のキャンドルナイト	100万人のキャンドルナイトinいわて	田村みどり	10:30～10:45
4	A4	エコを考える店「おふくろさん」	おふくろさん	田村みどり	10:45～11:00
5	A5	体験村・たのはた	"北山崎ビジターセンター 体験村・たのはた推進協議会"	楠田拓郎	11:00～11:15
6	A6	「ただ自然のなかで遊ぶだけ！」	あかばやし探検隊	川村晃寛	11:15～11:30
7	B1	旧松尾鉱山坑廃水処理事業の紹介	岩手県環境生活部環境保全課	館向博基、高橋正志	10:00～10:15
8	B2	全員参加での環境保全活動	岩手リコー株式会社	藤原敏代	10:15～10:30
9	B3	ひまわりプロジェクト	いわてバイオディーゼル 燃料ネットワーク	西國泰行	10:30～10:45
10	B4	写真パネル「PINPIX」と環境	工藤建設株式会社	開発部 松尾節男	10:45～11:00
11	B5	自然環境を守る化粧品の紹介	シナリー株式会社	鈴木千里	11:00～11:15
12	B6	いわてCO2ダイエット大作戦	いわてCO2ダイエット大作戦 事務局		11:15～11:30
13	C1	環境計算尺構想と「ハカラーキュン」	アイーナ夜学	佐藤清忠	10:00～10:15
14	C2	「アイーナ夜学」で考える持続可能な地域社会	アイーナ夜学実行委員会	佐々木明宏	10:15～10:30
15	C3	エネルギー環境学習実践校の活動紹介	いわてエネルギー環境教育 ネットワーク	高木浩一 (岩手大学工学部)	10:30～10:45
16	C4	あたって楽しむ！エネルギー環境学習の教材開発と教育実践連携	いわてエネルギー環境教育 ネットワーク	高木浩一 (岩手大学工学部)	10:45～11:00
17	C5	エネルギー教育の実践と研究	黒沢尻工業高等学校 電気科		11:00～11:15
18	C6	ESD:「21世紀型市民」をつくる高等教育	岩手大学(現代GP)	三木敦朗	11:15～11:30

## いわて環境フォーラム 2007in 盛岡 ポスター発表

岩手県生活問題研究会は、昭和39年、合成洗剤によって水が汚染されたことが社会問題となり、合成洗剤追放を全国の仲間とともに活動を始めたことがきっかけとなっており、準備期間を含め40年以上になりました。

活動内容として、環境保全、特に水質汚染の原因究明、ごみ減量に対する取り組み、廃油からのリサイクル石けん作り、食、農、医療、介護、税などの社会保障問題、消費者問題、平和についてなどの学習会や講演会に参加しています。

今回の環境カルタは、環境保全啓発のため、毎年テーマを決め、取り組んできた活動の一環として作成しました。



環境フィーラムで説明の佐藤会長

## 平成19年度活動報告（2007年度）

### 4月

- 5日（木）活動報告書検討 共済会会議室
- 11日（水）例会 共済会会議室
- 24日（火）消団連総会・幹事会 県民生活センター
- 25日（水）森林・環境フォーラム打ち合わせ 盛岡森林管理署

### 5月

- 9日（水）例会 共済会会議室
- 15日（火）赤字自治体拡大と社会保障問題を考える 県民生活センター
- 16日（水）新旧事務局引継ぎ 共済会会議室
- 24日（木）岩手県における農薬適正使用の取り組み 岩手農政事務所
- 31日（水）消団連幹事会 県民生活センター  
〃 学習講演会「国民投票法」ってなあに？ ベルフ山岸

### 6月

- 13日（水）例会 共済会会議室
- 16日（土）森林・環境フォーラム in いわて07 霧石  
霧石町総合福祉センター
- 17日（日）いわて男女共同参画フェスティバル2007 アイーナ
- 19日（火）盛岡消費者まつり実行委員会 おでって
- 20日（水）医療費負担増・介護保険を考える 県民生活センター
- 23日（土）高齢者の医療を考える 勤労福祉会館
- 27日（水）消団連幹事会・県消費者大会実行委員会 県民生活センター
- 29日（金）盛岡消費者まつり実行委員会 おでって

### 7月

- 6日（金）研究会資料整理 研究会ルーム
- 11日（水）例会 共済会会議室
- 19日（木）市消費者まつり展示打ち合わせ 共済会会議室
- 20日（金）ごみ分別学習会 盛岡市清掃業務課
- 24日（火）盛岡消費者まつり実行委員会 おでって
- 25日（水）消団連幹事会・県消費者大会実行委員会 県民生活センター
- 27日（金）盛岡消費者まつり打ち合わせ 共済会会議室

## 8月

- 1日（水）水の日行動 ホットライン肴町  
〃午後 盛岡消費者まつり打ち合わせ 共済会会議室  
3日（金）盛岡消費者まつり準備作業 共済会会議室  
8日（水）例会 共済会会議室  
21日（火）盛岡消費者まつり実行委員会 おでって  
23日（木）盛岡消費者まつり展示物仕上げ  
28日（火）消団連幹事会・県消費者大会実行委員会 県民生活センター

## 9月

- 4日（火）税・社会保障を考える学習会 おでって  
6日（木）盛岡消費者まつり展示物準備、午後搬入 共済会会議室  
7日（金）～9日（日）盛岡消費者まつり おでって  
12日（水）例会 共済会会議室  
26日（水）消団連幹事会・県消費者大会実行委員会 県民生活センター

## 10月

- 10日（水）例会 共済会会議室  
15日（月）盛岡人生活スクール 市総合福祉センター  
17日（水）消団連幹事会・県消費者大会実行委員会  
22日（月）県消費者大会分科会打ち合わせ 信用生協  
26日（金）リサイクル事業所、滝沢村清掃センター見学  
31日（水）県消費者大会 サンビル

## 11月

- 9日（金）ごみ問題検討会 共済会会議室  
13日（火）消団連幹事会・県消費者大会反省会 教育会館  
14日（水）例会 共済会会議室  
16日（金）「こんばす東北の課題」家庭ごみを減らす、に出演  
NHK 仙台放送局  
19日（月）みどりのフェスティバル実行委員会 岩手労働福祉会館  
20日（火）全国消費者大会 国際オリンピック記念青少年総合センター  
23日（金）いわて環境フォーラム in 盛岡 アイーナ

## 12月

- 3日（月）石油製品の異常高騰に関する懇談会 県民生活センター  
5日（水）第12回産直運動推進大会 アイーナ  
12日（水）例会 共済会会議室

14日（金）岩手県食の安全・安心リスクコミュニケーション おでって  
19日（水）消団連幹事会、理容・美容・クリーニング・飲食店営業に関する消費者懇談会 県民生活センター  
21日（金）環境カルタ作り 共済会会議室

## 1月

9日（水）例会 共済会会議室 午後 労働福祉会館  
17日（木）会計に関する打ち合わせ 教育会館  
23日（水）消団連幹事会・公正取引委員会懇談会 県民生活センター  
24日（木）食育フォーラム アイーナ

## 2月

13日（水）例会 共済会会議室  
26日（火）消団連幹事会 県民生活センター

## 3月

12日（水）例会 郷土料理を学ぶ会 共済会会議室  
14日（金）ガソリン暫定税率について考える県民のつどい 水産会館  
26日（水）消団連幹事会 県民生活センター  
28日（金）19年度まとめ検討会 共済会会議室

\*  
☆各種モニター等

きれいな水といのちを守る連絡会会長 広野 カツ子

### ☆廃油せっけん作り

佐藤 6、6リットル  
杉山 10、9リットル  
松村 46、2リットル  
田上 23、1リットル  
細野 6、6リットル

### ☆会員

・佐藤 まゆみ	・熊谷 佳枝	・杉山 溫子	・葛 和子
・長野 慶子	・下上 マツ子	・三田村 和子	・千葉 より子
・広野 カツ子	・松村 ウメ子	・田上 みね子	・細野 孝子
・吉田 伊保	・吉田 静子	・横藤 崇子	

会員の三田村和子さんは、7月23日に逝去されました。  
心からご冥福をお祈りいたします。

活動風景



